

## 「防災週間」及び「第3回国連防災世界会議」について

### 《市長コメント》

「防災週間」及び「第3回国連防災世界会議」における各種事業について、御説明いたします。

「防災週間」につきましては、石巻市防災基本条例に基づき、3月11日から17日までの間を設定いたしております。

また、「第3回国連防災世界会議」につきましては、3月14日から18日までの間、仙台市を主会場として開催されます。

こうしたことから、本市では、市民の防災意識の高揚及び震災の伝承を目的として、「防災週間」と「国連防災世界会議」の各種事業をタイアップしながら取り組んでまいります。

主な事業といたしましては、1点目に、「後世に震災の記憶を伝えるモニュメント」の設置イベントを3月11日に石巻市子どもセンター「らいつ」で開催する予定であります。

このモニュメントづくりは、震災の記憶の継承を目的とし、子どもたちが自らデザイン・製作・設置の作業を行うこととしております。

2点目に、市民、企業、関係団体などと連携し、国連防災世界会議のパブリック・フォーラムとして、「石巻市防災シンポジウム・展示会」を3月15日に石巻専修大学で開催する予定であり

ます。

この「シンポジウム」では、東京大学目黒教授による基調講演とパネリストを交えたパネルディスカッションなどを行います。

また、「展示会」では、各企業や関係団体に協力していただき、防災・減災・BCP関連などの展示を行います。

3点目に、国連防災世界会議参加者が本市を公式視察する「スタディツアー」が3月16日に予定されており、日和山公園、日本製紙石巻工場、旧門脇小学校、宮城エキスプレス、復興まちづくり情報交流館などを視察いたします。

4点目に、国連防災世界会議の開催期間中に、せんだいメディアテークで行われる一般公開事業に、「展示ブース」の出展及び「プレゼン発表」を予定しております。

「展示ブース」では、本市の「東日本大震災記録DVD」の上映のほか、みらいサポート石巻による「石巻津波伝承ARアプリ」及びイトナブ石巻による「防災教育に役立つ体験型アプリ」の展示デモなどを行います。

「プレゼン発表」では、雄勝法印神楽の復興の軌跡をテーマとし、3月14日午前10時から開催初日のオープニングを飾って、雄勝法印神楽の公演を行います。

ぜひ、この「防災週間」及び「国連防災世界会議」で実施する

各種事業を通じまして、更に、市民の防災意識の高揚とともに震災の経験から得た知識・教訓を国内外に発信し、後世への伝承を図ってまいりたいと考えております。